

災福ネット

長野県災害福祉広域支援ネットワーク

～災害福祉支援の充実を目指して～



長野県災害福祉広域支援ネットワーク協議会（災福ネット）

総会

【行政等】

長野県・長野県市長会・長野県町村会・長野県共同募金会

【県の福祉団体等】（災害派遣福祉チームを構成する団体）

長野県社会福祉法人経営者協議会
長野県高齢者福祉事業協会
長野県宅老所・グループホーム連絡会
長野県知的障がい福祉協会
長野県児童福祉施設連盟
長野県介護福祉士会
長野県介護支援専門員協会
長野県相談支援専門員協会
長野県社会福祉協議会

長野県救護施設協議会
長野県老人保健施設協議会
長野県身体障害者施設協議会
長野県社会福祉士会
長野県精神保健福祉士協会
長野県医療ソーシャルワーカー協会
長野県看護協会
長野県助産師会
長野県保育連盟

部会

長野県災害福祉広域ネットワーク設立総会

（平成 31 年 2 月 6 日）



長野県災害福祉広域支援ネットワーク

災福ネットの目指すもの

私たちは、災害に備えた福祉事業所間の相互応援の仕組みづくりや、福祉避難所の備えの促進、長野県ふくしチームの養成、福祉団体間の連携促進などに官民協働で取り組んでまいります。

1

福祉事業所間の相互応援



事業所間の災害時応援協定の促進

「福祉避難所」の備えの促進

福祉避難所緊急実態調査

回答：県内の指定福祉避難所289か所

福祉避難所として受け入れスペース、受け入れ可能人数を具体的に想定している

4割前後

福祉避難所運営マニュアルを整備済

19.0%

福祉避難所運営訓練を実施している

10.4%

(平成30年8月時点)

- 福祉避難所の設置、運営訓練の実施促進
- 社会福祉施設等の事業継続計画作成のための研修・モデル事業
- 事業所間の相互応援の仕組みづくり

2

災害派遣福祉チームの養成



「長野県ふくしチーム」の養成

県、市町村の防災訓練への参加等

災害派遣福祉チーム員養成講座



第1回目講座

福祉チーム員派遣



避難所内相談

3

福祉団体間の連携



各福祉団体ごとの災害福祉支援の取り組み状況の把握、連携の促進

入所施設等

- 避難確保計画の作成
- 福祉避難所運営のマニュアルの作成等

地域包括、在宅相談機関等

- 災害時要配慮者名簿の運用
- 災害時要配慮者個別避難計画の作成等

自治会、町内会等

- 災害時住民支え合いマップの作成・改訂

「ABCアセス」の提案

(県社協事業)



(参考)徳島県美馬市

- 福祉施設・事業所の利用者情報と住民がマップ等で把握した情報を緊急度で3段階に整理
- 避難支援の役割分野や地区ごとの合同避難訓練を実施

長野県災害派遣福祉チーム

活動時の愛称: 長野県ふくしチーム

4信で
チーム
構成

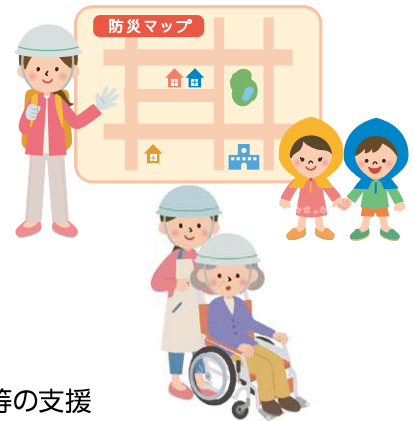


大規模災害時において
避難所、福祉避難所等において、
福祉・介護等のニーズ把握や
応急支援などを担う
高齢者支援・障がい者支援・母子支援等の
福祉専門職の混成チームです。

活動内容 ~災害時だけでなく平常時から活動しています~

平常時

- 長野県ふくしチーム養成研修・訓練への参加
- 地域の防災訓練や行事等への参加
- 災害に備える平常時の地域づくりへの協力 など



災害時

- 避難所環境の整備 (段差をなくす、通路の確保など)
- 高齢者や障がい者など配慮を要する方への聞き取り (必要に応じ福祉避難所へ繋ぐなど)
- 関係機関への受け入れ、相談などのコーディネート
- 配慮を要する方からの相談対応および応急的な介護等の支援
- 市町村、医療救護班、保健活動班などと連携した要配慮者の支援 など

訓練参加の様子



平成 30 年度長野県総合防災訓練から

災害時の派遣の流れ



令和元年東日本台風 災福ネット活動状況

	10/12	11月	12月	1月
避難所の概況	須坂市他 約120人 長野市 約700人、11カ所	閉所⇒統合避難所へ 公営、みなし、仮設等入居	引き継ぎの課題	飯山市等 県、長野市、「地域ささえあいセンター」
外部支援状況	DMAT中心	保健、看護、PT、ふくし等が連携	看護、ふくしチーム	
ふくしチームの動き	○先遣隊派遣 長野市、上田市、須坂市 ○長野市での一般避難所支援 長野県ふくしチーム 10/14～12/10 ぐんまDWAT 10/24～12/10	○長野市での福祉避難所支援 ⇒ 1カ所、5名が入居 ふくしチーム、県介護福祉士会 10/14～11/30	○長野 59日、102人参加(のべ402人) ぐんま 49日、46人参加(のべ230人)	避難できなかった課題
在宅避難者支援 (民間サイドから)	○10月末 保健師の在宅ニーズ調査に同行 ○長野市災害ボランティアセンター ⇒ ニーズ調査/専門相談(ケアマネ・看護) ○支援NPO等の情報収集		情報共有連携の課題	
事業所支援	○被災事業所の地域貢献活動支援 ⇒ 12/12 豊野ぬくぬく亭スタート ○長野市北部被災事業所連絡会(11/7、12/24)			



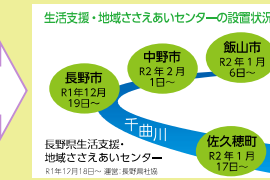
開設初期 段ボールベッド組立



多職種とのミーティング



なんでも相談コーナー



地域ささえあいセンター

令和元年東日本台風 長野県ふくしチーム活動内容

一般避難所支援 (DWAT機能)

①ラウンド・アセスメント

- 保健、看護チームと連携して要配慮者等に声掛けを行う。
- 服薬の確認や血圧、体温の測定を行いながら、体調や不安なこと、被災体験などをお聞きする。
- 顔見知りになる中で今後の住まいの確保等について相談につながるケースもあった。

②要配慮者支援

- 要配慮者の福祉サービス利用支援、地元相談機関へのつなぎ。
- 配慮が必要な避難者への定期的な見守り、服薬管理や声掛け。
- 地元相談機関の指示を受けて、病院やデイサービスへの送り出しの支援なども行なった。

③環境整備



階段の手すり設置

④なんでも相談コーナー



⑤集いの場づくり

避難所の高齢者等を対象に介護予防の体操実施。理学療法士会とふくしチームが分担。



福祉避難所の支援



10月13日、長野市北部保健センターで、福祉避難所の設置を支援。また、県介護福祉士会と連携して介護職の派遣調整を実施。

地域連携



長野市災害ボランティアセンターで、介護支援専門員や看護師による被災者相談を実施。